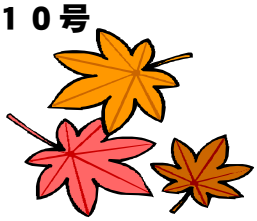
学校だより　第１０号

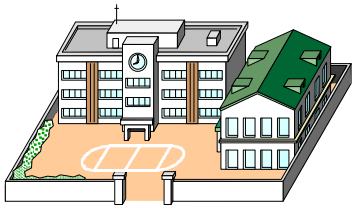


平成２５年１０月２８日（火）

この土曜日からは１１月です。１１月に入ると、秋も深まり紅葉前線も北から南下してきます。暦のうえでは、２４節気の「立冬」（７日）、「小雪」（２２日）があり、秋から冬への季節の移り変わりを肌で感じるようになります。また、各地より初霜、初冠雪の便りも聞かれるようになり、冬の足音が感じられる時期でもあります。

昼夜の気温の差がいっそう広がりますので、寝床を温かくして、子どもたちには風邪をひかせないように注意してください。

学校評価



１０月７日から９日の３日間で職員自己評価・保護者アンケート・児童アンケートを実施しました。保護者の皆様からは、学校運営について様々なご意見をいただくことができました。その集計結果については、昨日、各御家庭に配付させていただきました。

このアンケートでいただいた評価並びにご意見につきましては真摯に受け取め、今後の学校運営の改善に生かしていきたいと思います。御協力ありがとうございました。

なお、この結果を参考にして１１月１６日（日）に開催される学校評議員会で学校評議員の皆様から、関係者評価をしていただくことになっています。

学校評議員の皆様

岩瀬　益子　様　　山口富三雄　様
櫻井　源彦　様　　宮崎　光男　様
富永　泰夏　様

子は親をまねて育つ

子どもは親の言いつけ通りにはせず、親の言い方をまねします。だから、親がいつも「ダメ、ダメ」と言っていると、お友だちに「～を貸して」と言われた時、「ダメ」と言う子になってしまいます。まねをして学習することを心理学ではモデリングといいます。

人間の学習の大半はモデリングによるといわれています。教えたり教えられたりするよりも、日常的に見聞きして、まねすることで身に付けることがほとんどなのです。

（中略）誰だって、子どもには「当たり前」のことはできるようになってほしいと願いますよね。「当たり前」をできるようにするには、親自身が「当たり前のことを当たり前にする」姿勢が最も重要なことなのです。

Ｈ２６．１０．２３　千葉日報誌上　逆説の子育て　おおた としまさ氏（教育ジャーナリスト）より抜粋

※　我々教師もこのことを肝に銘じて、自分の言動に注意したいと思います。

いじめ撲滅キャンペーン

１　目　的

○いじめ撲滅を期して、児童理解を一層深めます。

○児童がお互いの人権を尊重する意義を改めて確認し合う機会とします。

２　期　間

１０月２７日（月）から１１月７日（金）まで

３　活動内容

（１）児童一人一人にいじめアンケート調査を実施し、実態を把握します。

（２）朝自習・休み時間・放課後の時間に児童と面談を行い、一人一人の悩みや困りごと等の相談活動を行います。

（３）イエローリボン運動を展開して、いじめ問題をみんなで考えます。

（４）各学級で、道徳の授業で「いじめ」について話し合う機会を設けます。

※　イエローリボン運動とは、平成１９年１月に開催された「千葉県いじめゼロ子どもサミット」で採択された「いじめゼロ宣言～いじめゼロ　みんながみんな　友達だ～　の中で　明るくいじめゼロの世界を目指すために自分の胸にイエローリボンをつけ、いじめ撲滅に向け努力することを誓う運動のことです。

４　悩みの相談先

本校には、つぎのような相談先があることをお知らせします。（保護者の方も可）

①教育相談ポスト（保健室前）　　②セクハラ相談窓口（担当：教頭　田中嶋）

また、他の関係諸機関については本校のホームページで紹介しています。

お 知 ら せ

読書感想文コンクール

教育長賞　３年　山口　貴也 くん　「なぜ学校に行くのか？」

特　　選　６年　池ノ内彩乃 さん　「私もつくってみたい『かあちゃん取扱説明書』」

入　　選　４年　池ノ内　葵 さん　「葵とアン」

佳　　作　１年　塙　亜美香 さん　１年　櫻井みず紀 さん　２年　早川　航太 くん

５年　瓦井　　蓮 くん　６年　穴澤　駿汰 くん

千葉県歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール

佳　　作　４年　常世田愛希 さん

火災予防ポスター展

銚子市消防団長賞　５年　鈴木　里音 さん

入　　賞　４年　常世田愛希 さん　５年　宮﨑真菜香 さん

６年　常世田優里 さん　６年　松本　心香 さん

就学援助制度のご案内

○銚子市では、学校給食、学用品、修学旅行費、校外活動費、医療費などを援助する制度があります。詳細は別紙を御覧下さい。